

33	都市整備局	快適通勤対策
事業概要	<p>鉄道の一部の区間では、混雑率が180%を超えるなど依然として混雑が発生しており、混雑状況の更なる改善が求められている。</p> <p>満員電車の混雑緩和は、社会の生産性向上のための重要な課題であることから、柔軟な働き方を可能とする時差出勤やテレワーク等の取組と連携して、多くの方々に快適な通勤を体感してもらう取組を、「時差 Biz」と銘打ち、平成29年度から実施している。</p>	
これまでの経過	<p>「快適通勤プロモーション協議会」の開催</p> <p>時差 Biz の取組を広く周知し、機運を醸成するため、企業、鉄道事業者、国などが参加する「快適通勤プロモーション協議会」を開催</p> <p><u>(1) 第1回快適通勤プロモーション協議会(平成29年4月28日)</u> <内容> [参加企業数 約30社] 時差 Biz の参加を呼びかけ(時差 Biz ロゴ発表など)</p> <p><u>(2) 第2回快適通勤プロモーション協議会(平成29年7月6日)</u> <内容> [参加企業数 約230社] 時差 Biz の開始宣言(PR動画の発表など)</p> <p>時差 Biz の実施(7月11日から25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○約320社が参加し、鉄道の混雑緩和のための取組を一斉に実施 企業取組 : 時差出勤、テレワーク、フレックスなど 鉄道事業者取組 : オフピーク通勤への特典付与、混雑の見える化など ○リーフレット、ポスター、動画を作成し、駅や電車内のほか、ホームページやSNS等を活用した広報展開を実施 	
現在の進行状況	<p>「第3回快適通勤プロモーション協議会」(平成29年11月開催予定)において、オフピーク通勤や時差 Biz 普及啓発に積極的に活動した企業・団体を「時差 Biz 推進賞」として表彰し、その取組を広く紹介するなど、ムーブメントの輪を更に広げていくための検討を進めている。</p>	
今後の見通し	<p>2020年大会時の混雑緩和も念頭に置いて、引き続き、企業や鉄道事業者等と連携し、様々な工夫を取り入れながら、時差 Biz の定着に向け、官民連携して取り組んでいく。</p>	
問い合わせ先	都市整備局 都市基盤部 交通企画課	電話 03-5388-3284